



埼玉県経営品質協議会

2025 年

SQA 会報

3 月

No.46

発行：埼玉県経営品質協議会

<https://www.sqa-net.com>

〒330-9626 さいたま市大宮区桜木町 1-7-5

ソニックシティビル 8 階 さいたま商工会議所内

TEL 048-641-0084 FAX 048-643-2720

..... CONTENTS

- “もしドラ”でマネジメント入門研修～経営品質初級編～開催報告
- 2024 年度 トップの集い開催報告
- 経営品質賞受賞企業訪問報告～2023 年度 日本経営品質賞受賞 西精工株式会社～
- 2024 年度顧客価値経営フォーラム開催について

関根代表幹事 挨拶



埼玉県経営品質協議会
関根 一成 代表幹事

会員企業の皆様におかれましては、ますますご盛栄のことと喜び申し上げます。昨年末に、当協議会の主要行事である経営品質賞受賞企業訪問を実施いたしました。2023 年度日本経営品質賞本賞を受賞された徳島県の西精工様を 16 名の会員企業の皆様と訪問し、たくさんの学びと気づきをいただきました。百聞は一見に如かずとはこのことで、約 1 時間の朝礼は深い対話を通じて社員同士の成長につながる研修そのものでした。「対話・傾聴・許容」を大事にしている理念経営は、経営品質に取り組む我々のお手本であり、このような組織と交流できる喜びを実感しました。

当協議会の今年度の活動も残りわずかとなりましたが、引き続き会員企業の皆様のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

“もしドラ”でマネジメント入門研修～経営品質初級編～開催報告

参加者には事前に“もしドラ”を読み、事前課題についてご準備いただいた上で 3 回に亘るワークショップ型研修を開催しました。当日は他社からの参加者とチームを組み、テーマごとの（対話→発表→共有）を通じてマネジメントの基本を体感していただきました。9 月の最終回終了後は参加者全員で交流・懇親会を開催し、親交を深めることが出来ました。

< 3 回のテーマ >

【第 1 回 7/11】「顧客価値経営」とは？ ①「顧客・市場（ターゲット）」、②「ありがたい姿」

【第 2 回 8/8】③「顧客価値（ニーズ）」

【第 3 回 9/12】④「組織能力（ノウハウ）」、「経営の設計図」とは？

講師：コアクリエイト 田原浩（運営委員）

「もしドラ」でマネジメント入門研修～経営品質初級編～

“もしドラ”を事前に読んで準備いただいた上で 3 回に亘る集合研修を開催します。新任管理職、管理職候補等、貴社の次世代を担うリーダー育成を目的としたマネジメント入門研修です。



- 対象 次の 3 つを学びたい方、ご自分の仕事に活かしたい方
①「チーム」を強くするマネジメントとはどのようなものか？
②指示命令や根性論によらないマネジメントとはなにか？
③メンバーが自主的に活動できるようになるマネジメントとはなにか？
- 狙い ①参加される他社・他組織からの参加者との対話を通じて上記マネジメントの基本について理解・ハラルチしていただきます。
②自組織の「経営の設計図」を策定してみたい、あるいは策定メンバーに加わりたいという気持ちになっていただきます。
- 進め方・参加者には事前に“もしドラ”（もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら）を読んでいただき、事前課題について準備します。
・3 回に亘る研修ではテーマごとに他組織からの参加者とチームを組み、（対話→発表→他チーム発表内容を共有）を通じてマネジメントの基本について理解・ハラルチします。最終回終了後は交流・懇親会を開催予定です。
- 研修概要（予定）
【第 1 回】「顧客価値経営」とは？ ①「顧客・市場（ターゲット）」、②「ありがたい姿」
【第 2 回】③「顧客価値（ニーズ）」 【第 3 回】④「組織能力（ノウハウ）」、「経営の設計図」とは？

日時	第 1 回 令和 6 年 7 月 11 日（木）13:30～17:30 第 2 回 令和 6 年 8 月 8 日（木）13:30～17:30 第 3 回 令和 6 年 9 月 12 日（木）13:30～17:30	参加費	30,000 円/人（全 3 回）
定員	20 名（先着順、定員に達し次第締切ります）	会場	ソニックシティビル 8 階 808 会議室
講師	田原 浩氏（コアクリエイト 代表） 埼玉県経営品質協議会運営委員、日本経営品質審査員、JQAA 理事 大手電機メーカーで部門のマネジメント革新を推進した経験を活かして、身近なマネジメントの問題に取り組んでいます。		



研修対象の方として、

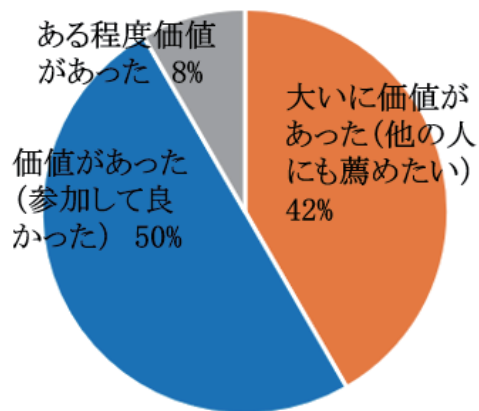
- ①「チーム」を強くするマネジメントとはどのようなものか？
- ②指示命令や根性論によらないマネジメントとはなにか？
- ③メンバーが自主的に活動するようになるマネジメントとはなにか？

について学びたい、ご自分の仕事に活かしたい方とご案内しましたが、研修終了後のアンケートでは下記の感想、気づきをご回答いただきました。「私が得た気づきは、マネジメントは全ての人に必要であるということです。以前まではマネジメントはリーダーや経営者が行えば良いものだと思っていました。しかし実際には、全ての組織や個人に必要なスキルであると感じました。自己管理やPJチームでの役割・対人関係など、マネジメントは組織を運営するだけでなく、個人のあらゆる場面で活用され、成果を上げたり円滑に物事を進めたりするために、不可欠であると思いました。」「他の業種の方とチームを組むことで、それぞれの会社のマーケティングやイノベーションの取り組み方が違うので色々気づかされました。」「特に印象に残っていることは、【強みを発見する、強みを活かす】ことで、その人の居場所や責任感が生まれ、【生きがい】や【自己実現】につながっていくということです。」

運営委員 田原浩



◎ご参加者アンケート結果



2024 年度 トップの集い開催報告

「未来創造に向けた価値共創」をテーマに、文部科学省やソニー（株）など、多岐にわたる職歴を持つ国立大学法人滋賀医科大学特任教授、小笠原敦氏にご講演いただきました。

PESTLE 分析を活用したマクロ環境の把握や、未来戦略立案において将来の状況を想定した課題抽出、その課題を解決するための戦略ビジネスモデル構築の重要性が語られました。また、日本の国際競争力低下を背景に、DX や AI の活用、無形資産へのシフトが不可欠であり、生産性や効率性の向上を目指した米国型モデルへの転換が必要と述べられました。特に、「ダイナミックケイパビリティ」が競争力の源泉であり、構成要素は「オペレーション」「管理」「ガバナンス」ではなく、「感知」「補足」「変容」にあると着眼点を転換し、デジタル化を通じて未来を予測することで、不確実な未来をバックキャストिंगで戦略を立案することができるというお話でした。

IBM のハードウェアビジネスからコンピューティングリソー

スを提供するビジネスへの転換事例の紹介では、「ありたい姿」をコーポレートビジョンとして策定し、それに基づき現時点で何をすべきかをバックキャストで導き出す重要性が語られました。

加えて、2045 年に訪れるとされる Singularity（技術的特異点）を見据え、AI や DX を活用した教育や労働戦略が、今後の価値共創における鍵となるとの見解が示されました。

運営委員 井原正裕



2024 年度 経営品質賞受賞企業訪問報告



日本経営品質賞受賞組織訪問として徳島県の西精工(株)様を訪問しました。

西精工(株)は徳島市に本社を置くナット・ファインパーツ(小型・極小のパーツ)を製造する創業100年を超えるメーカーで、2013年度と2023年度の2回、日本経営品質賞の本賞を受賞しています。

同社は国内の同業や海外企業との競争が激しい業界の中で、大量生産から高品質・高精度・極小で他社が真似のできないファインパーツ製造にシフトすることで、高付加価値経営を実現しています。

今回の訪問では、多くの取り組みにおいて、そのレベル感と徹底度に圧倒されるとともに感動を覚えました。西精工(株)は「人づくり」を重視しており、社員は一番大事な家族と一緒にという大家族主義の下で徹底した対話を通して社員の相互理解を深めています。社員全員が自分の役割や目標や将来の夢を記したミッションステートメントを作成するにあたっては、上司と50回以上の面談を繰り返すことで完成度を高め、プライベートの夢も共有することで夢の実

現に他の社員が協力するような事例も出ているとのことでした。

また、同社の特徴でもある1時間に亘る朝礼では、創業の精神や経営理念の唱和では参加人数からは想像できないような大きな声に圧倒され、チームに分かれて行う「創業の精神に沿った行動事例」や「西精工フィロソフィー」についての対話では、ファシリテーターの意見を引き出す進行と全員が自分の考えを躊躇なく発言していることに驚き、朝礼での1時間が短く感じるほどでした。

西精工(株)は、長年に亘り西社長も含めた社員同士の徹底した対話を繰り返すことで社員同士の繋がりを深め、多くの社員が会社で働くこと・所属していることに幸せに感じる組織づくりを実現しています。それは、社員の口から会社に出社することを「帰ってくる」と言っていたことから窺い知ることができました。

今回の訪問で学んだ西精工(株)の素晴らしい取り組みを各社が自社の組織で生かしてほしいと強く思います。

運営副委員長 浅見一廣



2024 年度 顧客価値フォーラム開催について

2024 年度の埼玉県経営品質表彰式ならびに受賞組織のトップスピーチ、取り組み事例報告や、受賞組織のトップ同士による座談会などを包括した顧客価値経営フォーラムを5月28日の午後にさいたま商工会議所会館で開催します。

埼玉県経営品質賞は、11月から2月にかけて審査チームが申請書とトップコミュニケーション、組織訪問、社員インタビューを通じて評価し、審査レポートを書き上げ、それを3月の判定委員会が判定し、賞委員会で賞が決定するという4か月に亘る精緻な審査プロセスに拠っています。

当日は、賞委員長の埼玉大学の坂井貴文学長に表彰状の授与と審査総括をし

ていただきます。

入場は無料ですので、お知り合いの経営者にお声がけください。



昨年度の様子

2025 年度 埼玉県経営品質協議会 活動方針

2025 年度は創立 22 年目を迎えます。これまで8組織の埼玉県経営品質賞が受賞されてきましたが、より多くの組織に埼玉県経営品質賞への申請をしていたきたいというのが、私たちの願いであり、そのためには会員になって活動をしていただく組織を増やしていくことを来期の活動方針の根幹に据えています。当会は経営者の親睦を目的にした団体ではなく、埼玉県経営品質賞を目指し、日本経営品質賞の受賞を目的とする経営者の会ですので、入会されたら受賞組織の取り組み事例等から自組織の文脈に合った変革活動を取り入れて、「経営の設計図」を描いて埼玉県経営品質賞推進賞に申請をしていただくことを会として支援していきます。

そのために、新入会組織向けのスタータープログラムとして、「もしドラ」でマネジメント入門研修を準備しています。その次に「ケーススタディで学ぶ経営品質」講座を用意して、組織の社長や経営幹部の受講をお奨めします。これは、埼玉県経営品質賞知事賞を受賞した組織の取り組み事例から、経営品質向上を対話を通じて学んでいくように構成されていますので、経営品質向上の取り組みを始められた組織には大

変有効なものです。

そして、「経営品質賞申請書記述支援コース」を準備しています。これは実際に 30 ページの申請書を書けるようにするためにプログラムしているところです。オンラインで 6 回～8 回開催を計画していますので、三重県や福島県、栃木県、新潟県など他県の経営品質協議会の会員にも受講を促していく企画を進めていきます。

ところで、2025 年度は協議会人事の更改年度にあたります。代表幹事と副代表幹事が変わる予定です。また、運営委員長と副運営委員長も交代予定です。代表幹事は 2 期 4 年務めていただきましたが、運営委員長は 4 期 8 年の長きに亘りましたので、刷新することにより、活動の変革が推進されることでしょう。

経営品質は「経営を質的に」評価して革新していくものであり、組織に「ありたい姿」を実現すること、素晴らしい組織をつくり上げることを目的としています。社員の自主性を高めるとともに、社会と協調しつつ、顧客価値を創造し続ける組織づくりへの仲間を増やしていきましょう。

運営委員長 高橋清